

○平成30年8月29日～31日 文教厚生委員会の県外行政視察を行いました。

文教厚生委員会では、「障害福祉について」及び「地域の特色を生かした小・中学校教育の推進について」等を調査事項として、栃木県・埼玉県・東京都において5カ所の視察を行い、事業概要について説明を受けるとともに、質疑や施設の視察を行いました。

番号	視察箇所	場所	調査内容
①	国立障害者リハビリテーションセンター	埼玉県所沢市	障害のある方々の自立及び社会参加を支援するための、医療から職業訓練まで一貫した体系の下での先進的・総合的な保健・医療・福祉サービスの提供や、リハビリテーション専門職の人材育成等の取り組みのDVDの視聴、説明聴取、訓練棟の視察を行った後、全国からの入所、通所の状況等について質疑を行いました。
②	大田原市立若草中学校 (大田原市教育委員会)	栃木県大田原市	大田原市での平成17年度に全ての小学校が国の教育課程特例校の指定を受けての小学校1年生からの特色ある英語教育の取り組みや、若草中学校での小学校と中学校の教師がティームティーチングで授業を行う小中一貫教育の取り組み等の説明を受けた後、校長の学校経営や英検受験料の補助等について質疑を行うとともに、英語の授業等の視察を行いました。
③	指定障害者支援施設 こころみ学園 (有)コ・ファーム・ワイナリー	栃木県足利市	障害者が生き生きと生活できる「こころみ学園」を作りあげ、看取りまでを行う取り組み等についての説明を受け、園生の作業及び生活状況等の質疑を行った後、「こころみ学園」の食堂近辺での園生の日常や、葡萄酒畑、ワイン醸造場の視察を行いました。
④	史跡足利学校	栃木県足利市	日本最古の学校であり、その遺跡は大正10年に国指定史跡、平成27年には日本遺産に認定され、歴史的伝統を踏まえて「教育の原点」「生涯教育の場」として、足利市のまちづくりの中心に据えられており、遺跡の説明を受けながら視察及び質疑を行いました。
⑤	福祉型大学 ゆたかカレッジ 「カレッジ早稲田」	東京都新宿区	施設及び授業の視察を行った後、福祉サービスを大学に見立て、修業年限を4年間とし、前半2年間の自立訓練事業を教養課程、後半2年間の就労移行支援事業を専門課程と位置づけた「福祉型大学」の取り組みや、関係者や社会から必要とされ「ゆたかカレッジグループ」が広がってきていること等について説明を受け、株式会社化した意味や、取り組みの成果等について質疑を行いました。



①国立障害者リハビリテーションセンター



②大田原市立若草中学校
(大田原市教育委員会)



③指定障害者支援施設こころみ学園
(有)コ・ファーム・ワイナリー



④史跡足利学校



⑤福祉型大学ゆたかカレッジ
「カレッジ早稲田」